

2021年5月13日

各 位

東京都新宿区西新宿八丁目17番1号
株式会社アドウェイズ
代表取締役 岡村 陽久
(コード番号：2489 東証第一部)
問い合わせ先：
上席執行役員 管理担当 田中 庸一
電話番号 03(5331)6308

2021年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異、個別業績の前期実績値との差異並びに2021年3月期剰余金の配当に関するお知らせ

2021年2月10日に発表した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想値と本日発表の実績値との差異が生じたとともに、2021年3月期の個別業績と前期実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記の通り2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。なお、剰余金の配当におきましては、2021年6月24日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 2021年3月期業績予想値と実績値の差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	47,200	1,230	1,400	900	21円64銭
実績値 (B)	49,020	1,626	1,866	1,422	34円46銭
増減額 (B-A)	1,820	396	466	522	
増減率 (%)	3.9	32.2	33.3	58.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	37,304	197	406	164	4円16銭

(差異の理由)

主力の国内広告事業において、一部のゲームアプリで広告費の減少があったものの、株式会社博報堂DYMメディアパートナーズとの資本業務提携によるQRコード決済アプリの広告主(クライアント)や金融関連企業の広告主(クライアント)からの広告費が増加したこと等により、売上高は前回発表予想(2021年2月10日発表)に対し3.9%増の49,020百万円、営業利益は32.2%増の1,626百万円、経常利益は33.3%増の1,866百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は58.0%増の1,422百万円となりま

した。

2. 個別業績の前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	32,847	348	598	346	8円74銭
実績値 (B)	41,500	1,254	1,316	996	24円16銭
増減額 (B-A)	8,652	906	718	650	
増減率 (%)	26.3	260.3	120.0	187.7	

(差異の理由)

当連結会計年度(2021年3月期)は国内広告事業において、新型コロナウイルス感染症拡大による可処分時間の増加に伴い、マンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が高まったほか、大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーン開始の影響により、ゲームアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告費も増加いたしました。また、2021年3月期第3四半期以降、QRコード決済アプリの広告主(クライアント)や金融関連企業の広告主(クライアント)からの需要も拡大したこと等により売上高は前期実績26.3%増の41,500百万円と増加いたしました。営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、売上高及び売上総利益が増加したこと等により、営業利益は前期実績260.3%増の1,254百万円、経常利益は前期実績120.0%増の1,316百万円、当期純利益は前期実績187.7%増の996百万円と前期実績を上回る結果となりました。

3. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月10日)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり配当金	8円42銭	5円33銭	2円50銭
配当金総額	322百万円	—	103百万円
効力発生日	2021年6月25日	—	2020年6月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社グループは、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要課題の一つとして認識しております。その基本方針として、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた適切かつ安定した利益還元を実施してまいります。2019年3月期から2021期3月期までの3ヶ年につきましては、下記の通り当社事業年度(第1期を除く)を基準とした配当性向もしくは1株当たり配当金2円40銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途といたしております。

本方針に従いまして2021年3月期の普通配当は、親会社株主に帰属する当期純利益1,422百万円に配当性向20%を乗じた配当金総額が、1株当たり2円60銭の配当金総額よりも高いため、普通配当を7円42銭といたします。また、2020年12月7日に当社株式の上場市場が東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部に市場変更されたこと並びに2021年2月28日に当社が設立20周年を迎えたことを記念し、株主の皆様の日頃からのご支援に対する感謝の意を込めて、1株当たり配当金1円00銭の記念配当を実施することといたしました。この結果、2021年3月期の期末配当は1株当たり8円42銭といた

します。

<3ヶ年(2019年3月期～2021期3月期)の配当方針(普通配当)>

決算期	第19期 (2019年3月期)	第20期 (2020年3月期)	第21期 (2021年3月期)
配当方針	配当性向18% もしくは 1株当たり2円40銭 の高い方	配当性向19% もしくは 1株当たり2円50銭 の高い方	配当性向20% もしくは 1株当たり2円60銭 の高い方

(参考) 年間配当の内訳

1株当たり配当金(円)			
基準日	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	8円42銭	8円42銭
前期実績 (2020年3月期)	0円00銭	2円50銭	2円50銭

(注) 配当金の内訳

当期：普通配当 7円42銭

記念配当 1円00銭

前期：普通配当 2円50銭

以上